

第1回小浜市地域公共交通会議 議事録

1 日 時 令和3年7月15日(木) 10:00~12:00

2 場 所 小浜市役所 4階 大会議室

3 出席者 <委員>27名(代理出席3名)

川本義海会長、野村徳夫副会長、堂前存守委員、池田誠子委員、内藤直人委員、今村治義委員、岩崎育巳委員、中村利紀雄委員、金子正憲委員、森健次郎委員、治部淳委員、山崎正博委員、寺本幸司委員、堂前裕実委員、富士健一委員、長谷川雅巳委員、神戸英至委員、藤田義雄委員(代理 小浜警察署交通係長 松本様)、伊藤秀幸委員、藤田靖人委員、清水正彦委員、御子柴北斗委員、野村和司委員、坂本孝司委員(代理 小浜病院 林様)、宮本宏幸委員、堤宗和委員(代理 福井県交通まちづくり課 粕谷様)、東野克拓委員、

<事務局>

角野覚局長次長、松岡靖洋課長補佐、高鳥徹也主査、吉村靖子主査

4 議事次第

(1) 開会

(2) 会長・副会長専任

(3) 議事

(1 報告事項) 小浜市公共交通の現状について

- ・小浜市地域公共交通会議について
- ・あいあいバスの概要
- ・あいあいバスの利用状況について
- ・JR小浜線の利用状況について
- ・小浜市の公共交通機関利用促進策について
- ・嶺南地域公共交通網形成計画の取組みについて

(2 協議事項)

- ・小浜市地域公共交通計画の策定について
- ・今後の公共交通会議のスケジュールについて

(4) その他 情報共有：観光庁補助金活用による交通実証実験について

(5) 閉会

5 配付資料

- ・次第
- ・「小浜市地域交通計画」策定の進め方について
- ・別紙1：嶺南地域公共交通網形成計画の取組み
- ・委員名簿
- ・会議関係
- ・参考資料【小浜市】市町交通分析シート
- ・小浜線定期助成チラシ
- ・あいあいバス時刻表
- ・「公共交通について活発で良い議論ができるために」

6 議事

(1) 会長挨拶

【会長】

ご紹介いただきました、福井大学の川本と申します。引き続き会長ということで大役を仰せつかりました。皆様のご協力の下、地域の足である地域公共交通をしっかりと見直し、皆様の利便性と持続可能な仕組みについてご議論いただき、また今までの取組の確認と将来に向けての希望も含めていろいろと議論していただきたいと思いますので、どうかよろしくお願い致します。

(2) 報告事項

・小浜市地域公共交通会議について

【会長】

会議といいますが、それぞれの団体からきていただいておりますので、皆様の思っていることやその中で出ている話や意見等、何でもよいのでこの場でご提示いただき、議論してより良いものにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

・小浜市公共交通の現状について

【委員】

それでは現状についてということで、皆様からのご質問・ご意見等をお願い致します。

【委員】

先ほどあいあいバスの概要の説明の中で、運行経費について令和2年度より削減しているとのことですが、その点の説明をお願いします。

【事務局】

資料5ページをご確認ください。こちらは運行経費が記載されているものでございます。令和元年度から比較しましてマイナス400万円となっておりますが、こちらはバスの車両の更新が令和元年度でピークを迎え、令和2年度で約1,400万円、これが令和7年で130万円程度まで減少するというところで、リース代が令和7年度に向けて徐々に減っていくという考えです。

【委員】

小浜線のダイヤのミスマッチが起こっている部分について、利用が少ないところを減らし、利用が多い所を増やすという話でございしますが、我々はなるべく乗って使おうということ意識して3年後の接続を意識しているのですが、利用が少ないところが無くなることで、いざ使おうとするときに、

余計に利用率が下がり、結果的に JR 利用が下がると思いますが、実際に利用が多いところを増やすことで利用者が増えるのかというようなことは、データで確認できるのか教えていただきたい。

【委員】

そのようなデータが無いですが、今後の考えといたしましては、利用の数が少ないところは一旦電車を走らさず、その周辺の列車で利用が増えればよいと考えています。利用状況を見ながらやっていきたいと考えています。

【委員】

基本的には、利便性よりも収益率を重視したということでしょうか。

【委員】

維持していかないといけないので、電車 1 本走らせる経費を考えなければならないことについてご理解をいただきたいと思います。

【会長】

資料 9 ページがあいあいバスの乗降調査を整理したものになっています。主に学生の利用ということもあり、他と比較すると特徴的かと思います。収入については、学生の利用ということで期待はできないということもあります。一般の利用をどのように増やしていくか、小浜市の中で大きなポイントになると思っています。後程、地域公共交通計画でご議論いただくなかでもそのあたりの話は出てくると思いますが、その対応は確認をいただきたいと思っています。

また、10 ページについて、学生の利用が影響しており、昼間の時間帯の利用者が非常に少なくなっております。現状として、少ないということですが、どうすれば利用してもらえ、利便性の高いものになるのかということもあります。JR 西日本からご説明いただいた通り、朝夕は通勤通学でかなり利用者が多いということで、同じような傾向が出ています。昼間にバスと電車を使う人が出てくれば、昼間の利用が維持されて、少ないところが削られていくことの歯止めになる可能性もあります。そのように仕向けていくこともできると思うので、JR とバスの連携の中で利用を考えることは重要なポイントだと考えています。

【委員】

嶺南地域公共交通網形成計画の資料の中で、経路検索サイトに対応するにあたり主な経路検索サイトとは何に載せているのか教えていただきたい。また、Google サイトへの掲載について今後どのように考えているか教えていただきたいと思います。

小浜市のあいあいバスは、住民の足という形で、通学に使われているが、その利用は努力で増えるものではないと考えています。増やしていくには一般の方を増やしていくしかない。どのように増やしていくのかきちんと伝えるということ。使われない理由として、一般の方が使えない時間帯もしくは、ダイヤの運行が合っていないことが課題になると思います。例えば、観光客が池河内線で明通寺に行っても、次の帰りのバスまで 30 分しかない。その時間でお寺を見て回る必要がある。それを後 15 分とか伸ばしてもらえれば、観光の方にお勧めすることができる。そのような一般客や観光客にどのように利用してもらうかが大事だと思います。その他に内外海方面にお客さまがおり、そのお客さまも年々高齢化している中、足がどんどん悪くなっていきます。交通手段が無くなったら不安を感じる方もいると思います。その方に使ってもらうことを考えると、金・土・日の 15 時頃に小浜から内外海方面へ行くのがベストな時間帯なのかと思っていますが、土日は殆ど運行されていないので、やはり通学メインでしようがないと思います。しかし一般客を増やしていこうと思っているのであれば、その課題も周知していただいた方が良くと思います。そのうえで、経路検索サイトで調べて出てくる

というのは大事であり、それが見えなければ利用者にとっては無いものと同じなので、しっかりと情報を載せることをお願いしたい。

先ほどの5ページのあいあいバスについて、運行費用（車代、ガソリン代など）について、何にどれだけのお金を使っているのか教えていただきたい。

【事務局】

最初にご質問頂きました別紙1の経路検索サイトへの対応につきましては、ナビタイムを示しています。グーグルサイトへの掲載につきましては、昨年度からGoogle社とやり取りを進めておりまして、掲載に向けてGoogle社のゴーサインを待っている状況です。まもなくGoogleサイトへの掲載は完了するものと考えています。また、ご意見いただきました観光客目線で、池河内線での明通寺、また、内外海の民宿については、課題があると認識しております。今年度課題を洗い出しながら小浜市の目指す地域公共交通の姿というところで、目標を定め、それに向けた施策を検討する中で、皆様と協議させてもらえればと思います。

また、最後にご質問頂きました運行経費の内訳につきましては、確認し、後日ご連絡いたします。

【委員】

他のサイトに載せるということは考えているのでしょうか。

【事務局】

現状としては、ナビタイムで載せるということになっているので、その他についてはこれから検討していく課題だと思っています。

【委員】

地域公共交通計画の中で、IC化の取組について考えていますでしょうか。ある程度あいあいバス等の交通機関やお買い物と連動させること等については今後考えていくのでしょうか。

【事務局】

ICカード、キャッシュレスにつきましても、これから検討していく課題だと認識しております。こちらの方は、交通系のカードを含めまして、様々なICカードが流通していると思いますが、その中で市民の皆様がどのようなものが使いやすいのか、費用対効果やランニングコスト、イニシャルコストなどを比較検討しながら、導入について検討していきたいと考えています。

【会長】

ICカードの導入については、小浜市だけではなく全市町として検討していくことで挙げられていますので、コストが多くかかり、事業者だけでは厳しいので、いろんな工夫の中で、検討しなければいけないことだと思います。これも大きなテーマとなると思います。

(3) 協議事項

・小浜市地域公共交通計画の策定について

【会長】

特に市内には、街中、半島、中山間部ということでかなり多種多様なエリアを通るので、それぞれの地域に合わせたニーズと課題を特に重視しながら進めていくこととなります。利用者の目線で求められるものを改めて意見交換の場を設けるということも盛り込まれています。サービスを提供する側として、現在ではあいあいバス、JR西日本、タクシー等がございいますが、それぞれの地域独自で運行するような交通が出てきています。自家用有償など住民自らが運転手となって、地域のためにボランティア的に実施することを県内で10箇所くらいしかやっておりますが、最近だと永平寺町などで近助タクシーというものがあります。その他に高浜町では内浦ぐるりんバスというものを住民の方がド

ライバーとなって運行しています。人々の生活のエリアもそれぞれなので、その点を考慮しながら進めていく必要があります。なかなか一様に進むものではないので、皆さんの住んでいるところからどのようなところのニーズが多いのかなど、そのような点についても具体的な改善されるような根拠をお話できればと思っています。その中で何かご意見、ご質問をお願いします。

【委員】

計画側でできることがここまでというものを示した中で、ある程度意見を反映させていくことはありだと思うのですが、ここに集まっているメンバーを見ると、これからの観光とか、小浜市が何で残っていくのかを含めて交通機関を考えないと、通勤通学とか車を利用促進ということだけで決めていいのかと思うのですが、その辺の進め方はどう考えているのでしょうか。

【会長】

今回の計画は方向性を決めるのが1番であり、具体的な話をする実施計画ではないので、小浜市の将来の住まい方、みんながどのようなものを求めているか、今どこに問題を感じているかをベースにしながら、その中で公共交通はどこまで求められるか、どこまでできるかという話を中心になると思います。

今回は理念や将来像を含めての話を、それぞれの関係の立場での考え、交通としてどういうことをやらないといけない、地区としてこういうことをやろうとしている、公共交通をサポートしなければいけない等の意見を出していただいて、小浜市全体としてどうしていくのかというものにしていくべきだと思っています。公共交通の計画ではありますが、まちづくりの話抜きではできないものだと思います。

【委員】

観光客への調査について、現在の小浜市の観光客は、昭和後期の海水浴ブーム時に来ていた方が引き続き来てくれていることが多いと思っており、そういった方は年々高齢化しているのです。これから足が必要になってくると思います。今来ている方にアンケートを取ったところでなかなか出てこないのではないか。

また、今来ている方の95%がマイカーで、マイカーを持っていないと来られない場所になっていて、京都や大阪の中心部に住んでいるクルマを持っていない方が来られていないのではないのでしょうか。今来ている方にアンケートをとっても、そういった方々のニーズが聞けないのではないかと思います。地方の公共交通の観光での事例をご紹介いただきながら、在り方を検討できればいいなと思っています。

【会長】

これからどのような人たちが使うのか反映できるのがいいと思います。他にも観光で取り組まれているところや地域公共交通の計画を作っているところ、それぞれのところで様々な考え方の中でやられています。今回は八千代エンジニアリング株式会社にサポートいただけるということで、色々ところで計画に携わられており、知見をお持ちですので、小浜市に合った、外からの観点でサポートいただけることに期待したいです。

MM（モビリティ・マネジメント）については、コミュニケーションを図る中で人の行動を変えていきたいと思います。意見のキャッチボールを行いながら、意見を共有するような仕組みを地域の中で作って、みなさんの意見を共有し、共感できる部分を見出して計画の中に盛り込んで、それぞれの立場でやっていく形になると思いますので、そのようなスタンスで建設的な意見をいただくと、しっかりとした計画ができると思います。

【委託事業者】

市さまの総合計画や総合戦略等の上位計画の考え方を踏まえたり、都市づくりや観光等について市さまの関係部署のお話を伺ったりし、方向性を考えながら取り組んでいきたいと思っております。こちらの会議の方でも、いろんな分野のみなさまからのご意見を伺いながら、計画づくりのお手伝いをしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

・今後の公共交通会議のスケジュールについて

【会長】

第2回目以降の会議の具体的な日については、また事務局から日程調整になると思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（４）その他

・情報共有：観光庁補助金活用による交通実証実験について

【会長】

観光に特化した形の実験になるようです。3ヵ月間だけになりますが、観光客の方の満足度、地元の方の利用も利用できるようです。添付の資料をご覧くださいと思います。

・JR 小浜線定期券1か月分助成

【事務局】

小浜線利用促進協議会の方で、今年度実施させていただく利用促進に係る取組みで、定期券の購入代金1か月分を助成させていただく事業になっています。7月20日から申請を受付させていただきます。申込窓口は、小浜線利用促進協議会事務局の小浜市役所となっていますが、嶺南各市町で申し込みいただけますので、よろしくお願いいたします。

・JR 小浜線情報共有

【委員】

JR 小浜線を持続的に運行していく中で、悩みの共有をさせていただきます。①雑草（沿線に草が多く、JR社員、グループ会社、一部沿線の住民の方に手伝ってもらいながら、草刈りを行っているが、追いつけず、人員確保が難しい）②除雪（除雪要員確保が難しい）③獣害（8～9割鹿で、年間150～160件程度衝突があり、列車の遅れに繋がっている）。今後自治体の方等にご協力をお願いするかもしれないです。

【会長】

みなさんにご意見いただいて、次回以降議論を進めていくベースを決めていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

以上